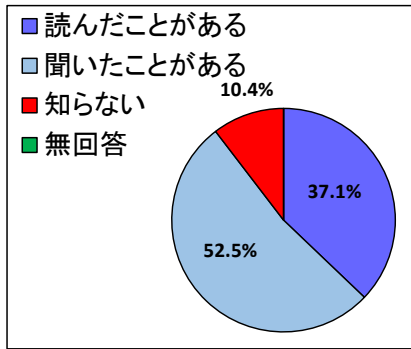


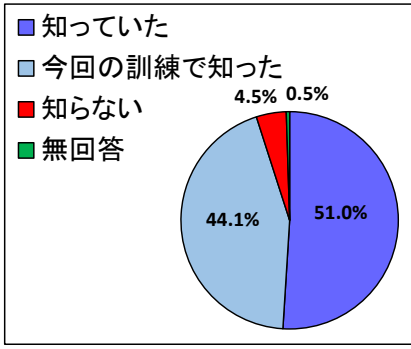
# 1 参加住民・参加要員アンケート結果（原子力防災訓練）

【住民アンケート結果】訓練参加者216人、アンケート回答者202人（伊方町106人、八幡浜市26人、大洲市18人、西予市33人、宇和島市19人）

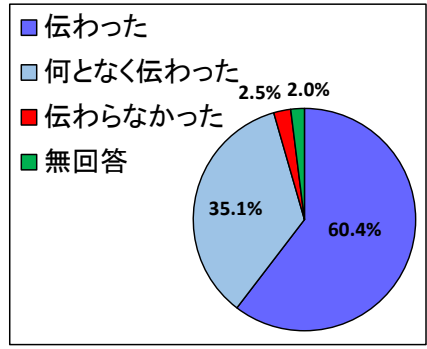
Q1 愛媛県広域避難計画を知っていますか



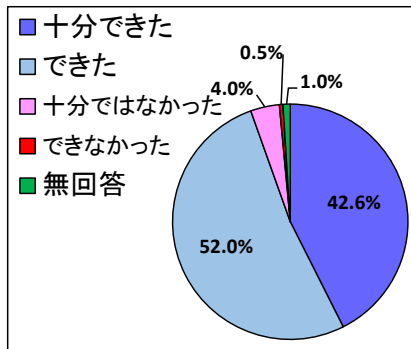
Q2 原子力災害時の避難方法を知っていますか



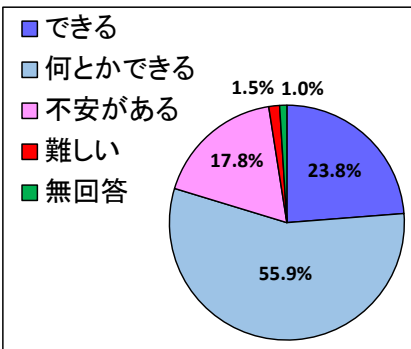
Q3 住民広報は確実に伝わりましたか



Q4 避難はスムーズに行えましたか

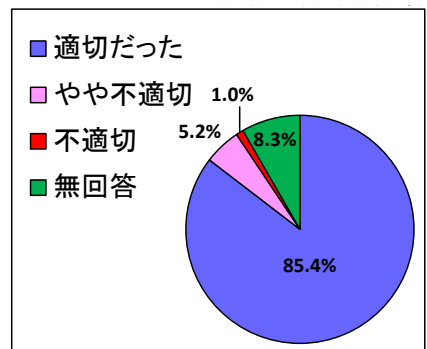


Q5 訓練を体験して避難は行えると感じましたか



Q6 安定ヨウ素剤の配布、服用は適切に行えましたか

※対象：八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市



## 【住民からの主な意見】

- ・訓練を実際に経験しておくことが本番に役立つと思う。
- ・実際に自家用車での避難による渋滞が危惧される。
- ・訓練は大切なことであるけれども、実際に災害が発生した場合に確実にできるかどうかは不安もある。
- ・屋内避難の食料は、道路不通の場合でも調達できるのでしょうか。
- ・初めての参加でした。来年からも未経験者の人が参加したら良いと思います。
- ・今回の訓練は女性が多く参加されて、今までにない効果があったのではないかと、次回からも続けてほしい。
- ・伊方発電所から30km圏内に住所があるので、訓練などに積極的に参加したい。また、知人にも呼びかけることが必要だと思った。
- ・講習会では、基本的知識をしっかりと教えていただき、大変ためになった。

## 【参加要員からの主な意見】

- ・雨天時にどのように対応するのか、よいシミュレーションになったのではないかと。
- ・感染症対策の方法を模索する機会となる等、大変有意義な訓練となった。
- ・環境（座席間隔、換気）や物品（フェイスシールド、マスク、手指消毒液、手袋等）など、感染症対策がしっかりとられていた。
- ・受付時の手指消毒と避難者名簿の確認を行う機は、別配置の方が良い。
- ・トイレの使用時、体調不良者と健常者が交わる時間ができた。
- ・スタッフの訓練の目的もあれば、40歳未満の者や妊婦等いろいろな設定も必要かと思う。
- ・実際には大量の車両の出入りが想定されることから、車両待機場所や余裕のある動線確保など、レイアウトを考慮すべき。
- ・有事の際は、住民はパニックになると思うので、職員が正しい知識を備えて、正確な情報を速やかに発信する必要がある。
- ・重要な情報（15条事象発生、緊急事態宣言、公示・指示等）のみ一斉の音声連絡にできないか。
- ・発災直後の初動対応が重要だと思うので、警戒事態発生から始まる訓練も必要と思う。
- ・県全体の訓練も重要であるが、細かい単位での訓練を実施してはどうか。
- ・自家用車避難も取り入れるべき。
- ・ドローンの飛行ルートを設定するに当たり、機首角度の設定作業の難易度が高いため、簡易に行えるようにする必要がある。